

講演と朗読

江戸川乱歩
を読む

江戸川乱歩（一八九四―一九六五）は、
一九三四年に立教大学のすぐ傍に居を構えました。
乱歩が池袋で暮らした当時の姿のまま残るチャペルから、
みなさまを乱歩の世界へと誘います。

日時

2025年1月26日[日] 14:30~16:30(開場 14:00)

会場

立教大学 池袋キャンパス 立教学院諸聖徒礼拝堂 (チャペル)

定員

150名 (先着順) ※入場無料

申込

2024年12月4日(水) 正午受付開始

講演

「乱歩と演劇と文学座」後藤 隆基 (文学座文芸編集室/立教大学兼任講師)

朗読

江戸川乱歩「指」「妻に失恋した男」小野 洋子 (俳優/文学座)

アフタートーク

小野 洋子 × 後藤 隆基



申込はこちら

【出演者プロフィール】



小野 洋子

俳優。文学座。北海道生まれ。1975年文学座附属演劇研究所入所、1977年『飢餓海峡』にて初舞台を踏む。1980年に座員となり、現在に至る。主な出演作に『出雲の阿国』、『唐人お吉ものがたり』、『好色一代女』、『わが町』、『聖なる炎』など多数。声優としても活躍しており、韓国ドラマ『冬のソナタ』(カン・ミヒ役/ソン・オクスク)、『宮廷女官チャングムの誓い』(ハン・ベギョン役/ヤン・ミギョン)の日本語吹替え版などを担当している。趣味は講談で、2024年12月には「小野洋子 講談独演会」を開催。2025年10月、文学座本公演『華岡青洲の妻』出演予定。

後藤 隆基

文学座文芸編集室。立教大学兼任講師、江戸川乱歩記念大衆文化研究センター特定課題研究員。1981年静岡県生まれ。立教大学大学院文学研究科日本文学専攻博士後期課程修了。博士(文学)。専門は近現代日本演劇・文学・文化。著書に『高安月郊研究 ― 明治期京阪演劇の革新者』(晃洋書房、2018)、『乱歩を探して』(立教学院、2024)、編著に『ロスト・イン・パンドミック ― 失われた演劇と新たな表現の地平』(春陽堂書店、2021)、『小劇場演劇とは何か』(ひつじ書房、2022)ほか。

主催：立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター

共催：文学座

お問い合わせ：立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1 Tel: 03-3985-4641 E-mail: rampo@rikkyo.ac.jp

※旧江戸川乱歩邸は改修工事のため、当日の見学はできません。